

＜出版あんない＞

あいち県民教育研究所・設立25周年事業

第3期あいち民研子育て・教育総合調査

子ども・若者・おとなの語りから見えてくる

現代の子育て・教育

— 子どもの願い・おとなの悩みに寄り添って —

みなさんのご協力により、愛知県下のヒアリング調査の報告書が完成しました。

2016年11月～2019年9月にかけて、県下の保育士、小学校教員、中学校教員、高校教員、学童指導員、不登校経験の高校生・大学生、幼児の母、発達障害児の父母、発達障害を疑っている成人、被虐待体験者、無料塾のスタッフ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、計34名の聴き取りをしました。

一回のヒアリングで90分語っていただきました。人間の土台となる幼児期の育ちがここ十年ほどで随分変化をしてきていることが、よくわかりました。年々増加する不登校をとめられない理由が理解できた気がします。

子どもの教育に携わっている身にもかかわらず、わが子の不登校に悩む姿、自分が周囲との

人間関係に悩みつつも伴侶の深い理解でここまで生きてきたと語る姿に、聴いている私たち編集委員が自分の人生について深く考えさせられてきました。

また、発達障害のわが子の願いを実現するために、母親が子どもから勇気もらい、学校へ要求していくことによって学校が変わっていく姿も見ることが出来ました。

報告書は、困難を抱えながらも、優しさの中にしたたかさを秘め、この愛知で生きている34名の物語です。そこからは、学校のあり方、子育てのあり方、行政の役割などさまざまなことが見えてきます。

ぜひご一読をお願いします。そして、みなさんとこの本をもとに、語り合いたいと思います。

◆定価 1400円 (税込 1540円)

◆あいち民研へ直接注文の場合

◎手渡し 1冊 ⇒ 1400円 (消費税なし)

◎郵送 1500円×注文冊数=合計円 (送料込み)

◆一般書店へ注文の場合 ※地方・小出版での取次

著者：あいち県民教育研究所

書名：現代の子育て・教育

出版：ほっとブックス新栄

ISBN：978-4-903036-33-5 C0037

【注文先】

あいち民研事務局 office@aichi-minken.sakura.ne.jp

ファクス：052-623-2373

【料金振込先】

●郵便口座：記号 00850-0

口座番号 132763

加入者名 山田清文

目次

まえがき

第一章 保育は福祉 — 幼児期の育ち —

- 1 若い母親の子育て不安 — 私を支えたもの — (幼児の母)
- 2 子どもの育ちを支える保育園 — 保護者と共に — (保育士)
- 3 父母とともにつくる幼稚園 — 福祉の視点をもって — (幼稚園 園長夫妻)
- 4 子どもの笑顔を大切に — 親の困難に寄り添いながら — (保育園 園長)

第二章 子どもが共に伸びていくために — 学童期の育ち —

- 5 子どもたちの最善の利益を — 生活の中で力を — (元 学童保育指導員)
- 6 子どもたちの「放課後のおうち」だからこそ — (学童保育指導員)
— 子どもたち・保護者たちをつないで支える —

第三章 子どもたちの話が聴きたくて — 教員の声 —

- 7 小学校の「今」 — 子どもたちの姿、教師としての働き方 — (小学校教員)
- 8 パワハラのある中で — 障害のある子と触れあって — (中学校教員)
- 9 教師の生きがい — 生徒の話を聴きたくて教員になった — (高校教員)

第四章 心が元気になってくれればよい — 不登校 —

- 10 心が元気になってくれればよい — 息子は私と違う人格 — (母)
- 11 子どもをもっと理解していれば — 教育懇談会で — (母・祖母・保育士)
- 12 不登校をのりこえて — 信頼できる出会って — (高校生)
- 13 不登校からの出発 — あのととき・これから — (大学生)

第五章 育ち直しはいつでもできる — 発達障害 —

- 14 発達障害の子どもの理解を — 合理的配慮がほしい — (父母)
- 15 おそろおそろ足を踏み出す — 僕を支えてくれた人とともに — (塾講師)
- 16 わが子の「成長したい」思いをサポート — 発達障害の兆しをのりこえて — (母)
- 17 困難を抱えた子どもたちと共に — 心のこえを聴き取りながら — (SC)

第六章 子どもたちのサインを見逃さず — 貧困・虐待 —

- 18 貧困の連鎖をくいとめる — 子どもの生活に寄り添って — (無料塾スタッフ)
- 19 虐待からの立ち上がり — 癒やされる過程を — (被虐待の成人)

補章 子どものリアルから見えてくるもの

- 20 子どもと学校のリアル — 活動から見えてきた — (SSW)

まとめ あいちが育む共生と支援の事実

— そばを歩む他者と紡ぐ希望の物語 —